

2018年1月16日

～世界最小レベルの極小細断を実現したシュレッダー「kiwami F6」の開発において～

## 第7回 ものづくり日本大賞 優秀賞受賞

株式会社サカエ(代表取締役社長:松本弘一、本社:東京都港区、資本金:9,300万円)は、経済産業省が主催する第7回「ものづくり日本大賞」において、世界最小レベル極小細断を実現した国産初の文書細断シュレッダー開発と製品シリーズ化として、シュレッダーShred Gear「kiwami F6」が「優秀賞」を受賞しました。「ものづくり日本大賞」においてシュレッダーが受賞するのは、今回が初めてとなります。

なお、当社では、第6回ものづくり日本大賞(2015年)にて、当社製のグリコヘモグロビン分析装置「A1 c iGear」とその検査試薬の開発が「特別賞」を受賞したのに続き、2度目の受賞となります。

### ◇受賞の概要

今回優秀賞を受賞した「kiwami F6」は、世界最小レベルの0.7mm×3.5mmに極小細断するハイセキュリティなシュレッダーです。国際的な基準とされるドイツのDIN規格では、シュレッダーの細断寸法に応じて7段階のセキュリティレベルを設定しており、「kiwami F6」はもっとも高いセキュリティレベル7に相当します。近年、マイナンバー制度の導入や、改正個人情報保護法等により、機密書類など紙媒体のセキュリティ意識が高まっています。

当社では、2015年4月からハイセキュリティタイプのシュレッダーとして「kiwami」シリーズを発売し、機密書類を復元不可能なレベルまで極小細断することから、市場より高い評価を頂いています。

今回の受賞は、「kiwami F6」が実現した世界最小レベルの極小細断技術が時代のニーズに対応していることから受賞に結びついたものです。

なお、当社では今後も高いセキュリティ意識に対応したものづくりに取り組んでまいります。



第7回ものづくり日本大賞「製品・技術開発部門」優秀賞を受賞したShred Gear『kiwami F6』

◇ものづくり日本大賞について

内閣総理大臣表彰「ものづくり日本大賞」は、日本の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきたものづくりを着実に継承し、さらに発展させていくため、製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や、伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、ものづくりの第一線で活躍する各世代のうち、特に優秀と認められる方々を顕彰する制度です。2005年より隔年で開催され、今年で7回目となります。

※経済産業省 HP より一部抜粋

■本件に関するお問合せ先

株式会社サカエ 広報担当:総務部 西村  
TEL:03-3571-3849